

吉岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略【令和6年度実績】

基本目標 1.「地域力」を活かした、誰もが安心して暮らせるまち

数値目標	住みやすい町と感じている町民の割合	基準値	83.2%(平成30年度)	実績値	計測不可(令和6年度) ※アンケート未実施
		目標値	85.0%(令和6年度)		

(1)豊かな住環境の整備と安心・安全、便利なまちづくり

KPI	公共交通利便性向上に関する実証実験等取組事業数			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	2 種類 (達成目標)	現況 H30	1種類	【未達成】 バスは他市町村との乗合のため町独自での実証実験が困難である。 デマンド交通に対する需要を満たすため、タクシー運賃等助成事業の制度拡充に注力する。 R7年度からは、タクシー券利用の際に乗降場所と時間を記入してもらうことでニーズの調査を開始した。
年度	実績値		達成率	
R2	1 種類		50%	
R3	1 種類		50%	
R4	1 種類		50%	
R5	1 種類		50%	
R6	1 種類		50%	
担当部署	企画財政課 企画室			
KPI	消防団員の充足率			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	90 % (達成目標)	現況 H30	79%	【未達成】 ふるさと祭りやジョイホンパーク吉岡での県消防協会渋川支部の女性一日消防長事業等での女性・若者への入団呼びかけや広報、HP上での電子問合せフォームの開設を実施したが、入団に関する問合せは1件もなく、団員の増加にはつながらなかった。 また、一身上の都合等による役場職員8名の退団もあり、さらに充足率を下げることもあった。 今後も引き続き女性・若者に対し広く消防団活動をアピールするとともに、役場の職員への改めての声掛けや、団員等の知人に絞っての声掛けも行っていく。 なお、R7年度は県による町消防団のPR動画作成事業を活用し、町の消防活動事業をより広めていきたい。 また、機能別団員の創設についても検討していく。
年度	実績値		達成率	
R2	78.9 %		88%	
R3	73 %		81%	
R4	63 %		70%	
R5	58 %		64%	
R6	48 %		53%	
担当部署	総務課 協働安全室			
KPI	マイナンバーカードを利用した諸政策の実施			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	5 件 (達成目標)	現況 H30	未実施	【達成】 →コンビニ交付、図書カード、ぴったりサービス、庁舎のマルチコピー機設置、書かない窓口(実証実験)の5件 書かない窓口については、実証実験にとどまっている。
年度	実績値		達成率	
R2	1 件		20%	
R3	1 件		20%	
R4	3 件		60%	
R5	5 件		100%	
R6	5 件		100%	
担当部署	企画財政課 企画室			

①計画的な土地利用による良好な住環境の形成

主な施策・事業	概要	取組実績
身近な公園の整備	子育て世帯を中心に、身近な憩いの場を求める声が多いことから、計画的な公園等の整備を進めていきます。	【午王頭川親水公園整備事業】(都市建設室)
		実績なし
		【八幡山運動公園整備事業】(生涯学習室)
		補助事業については該当の可能性があることを確認することができた。
		【自治会広場の整備】(協働安全室)
土地利用の規制・誘導	市街地の「まとまり」をつくり、全ての世代が暮らしやすいまちを目指すため、土地利用の規制・誘導について推進します。	令和6年度としては相談も含め、実績はなかった。
		【都市計画マスタープランの見直し・改定】(都市建設室)
		R6年度から3年債務で、公共交通マスタープラン、立地適正化計画、緑の基本計画とともに都市計画マスタープランの改定に着手した。
		【土地利用規制手法の検討準備】(都市建設室)
		R6年度から3年債務で、公共交通マスタープラン、立地適正化計画、緑の基本計画とともに都市計画マスタープランの改定に着手した。
緑化推進事業	花と緑の美しいまちづくりを推進していくために、住民の緑化思想の普及啓発を図るとともに、住民参加による都市緑化の取組を推進します。	【緑の少年団育成事業】(農業振興室)
		明治・駒寄小学校5年生を対象にプランターを作成するなど、緑化思想の高揚が十分に図れた。

②公共交通・道路網の充実

主な施策・事業	概要	取組実績
公共交通利便性 向上事業	恵まれた都市環境をさらに発展させるとともに、公共交通空白地域・不便地域の解消と町民のスムーズな移動の確保を目指し、タクシー運賃等助成事業の更なる拡充や巡回バスなどの運行により、公共交通の利便性の向上を図ります。	【前橋駅上野田線運行ダイヤ見直し及びルート変更協議】(都市建設室)
		R6年度から3年債務で、公共交通マスタープラン、立地適正化計画、緑の基本計画とともに都市計画マスタープランの改定に着手した。
		【タクシー運賃等助成事業の実施】(企画室)
		利用者の利便向上のため、新たな介護福祉タクシー事業者との契約を行った。 【実績値】 利用枚数:10,875枚 助成額:5,437,500円 申請者数:520人
		【巡回バス運行事業】(スクールバスの活用事業も含む)】(都市建設室)
		R6年度から3年債務で、公共交通マスタープラン、立地適正化計画、緑の基本計画とともに都市計画マスタープランを改定に着手した。
		【通学バスの運行】(教育総務室)
政策連携による 道路整備の推進	近隣自治体との連携道路の整備促進や、国や県に対する要望活動を通じ更なる道路網の充実を図ります。	【渋川連携道路】(都市建設室)
		国庫を活用し、2-2-2-3工区の用地買収、補償、立木伐採および道路改良工事を進めた。
安心して通行(歩 行)できる環境整 備	通学路を中心に、児童・生徒が安心して通行できるよう、関係機関との協議を進めます。 緊急輸送道路や通学路を対象として、地震によるブロック塀等の倒壊等の被害を防止し、道路利用者の安全を確保します。	【ブロック塀除却補助事業】(都市建設室)
		5件(828,000円)交付した。
		【通学路の危険箇所の把握と解消】(用地管理室)
		・交差点改良1カ所(歩道だまり整備、防護柵設置) ・防護柵設置、補修2カ所 ・歩道補修3カ所 ・その他 (ラバーポール設置4カ所、転落防止柵2カ所、減速帯等設置1カ所、車線分離標設置1カ所、注意喚起反射板設置1カ所、規制標識更新1カ所)
		【県道歩道整備の推進】(用地管理室)
		実績なし
		【橋梁長寿命化計画の策定及び橋梁定期点検の実施】(用地管理室)
		実績なし

③安心・安全なまちづくり

主な施策・事業	概要	取組実績
防災・減災に向けた取組の更なる強化	<p>自主防災組織による活動を支援するとともに、講習会などを実施して防災知識の習得や普及を図ります。また、新たに地域防災活動のリーダーとなる防災士等の育成を推進します。</p> <p>災害等に迅速に対応するため、老朽化している防災無線のデジタル化と戸別受信機の設置を進め、防災機能の充実を図ります。</p> <p>消防団員の確保をするため、町や自治会の行事等で団員募集チラシを配布・回覧し入団希望者を募るとともに、町内の企業や店舗に対し従業員の入団を働きかけるなどし、消防団の充実強化を図ります。</p> <p>防災、減災に対するアンケートによる住民一人ひとりの意識度を調査するとともに、各家庭での防災備蓄、減災対策の啓発を行い、「自助」に対する意識強化を図ります。</p>	【講演会の開催】(協働安全室)
		1つの自治会の防災講話に町職員が講師として参加し、防災意識の向上を図った。
空き家対策事業	<p>周辺の生活環境に悪影響を与えることが懸念される「問題のある空き家」について実態を調査し、必要な措置をとっていきます。</p>	【防災無線放送施設整備事業】(協働安全室)
		業者による保守点検及び落雷や降雪による戸別受信機の故障対応を行った。
住宅耐震対策事業	<p>耐震診断により、改修が必要とされた住宅の改修費用の一部助成制度を推進します。</p>	【空き家実態調査】(都市建設室)
		月1回の空き家相談を実施した。空家等に係る苦情があった場合、空家対策特措法に則り、所有者等に助言を行った。「吉岡町空き家対策」冊子の寄贈を受け、希望者へ配布した。
放課後児童安全対策事業(見守りパトロール)	<p>児童の帰宅時等の安全を確保するため、放課後に見守りパトロールを実施します。</p>	【耐震診断者派遣事業】(都市建設室)
		1件実績あり。
放課後児童安全対策事業(防犯カメラ)	<p>児童の安全の確保および犯罪防止を目的として、児童が集まる場所等に防犯カメラの設置を進めます。</p>	【住宅耐震対策事業】(都市建設室)
		実績なし。
放課後児童安全対策事業(見守りパトロール)	<p>児童の帰宅時等の安全を確保するため、放課後に見守りパトロールを実施します。</p>	【見守りパトロール事業】(協働安全室)
		公益社団法人群馬県長寿社会づくり財団に委託し、町内小中学校の下校時間帯に、町が所有している青色防犯パトロール車を使用して町内パトロールを実施した。
放課後児童安全対策事業(防犯カメラ)	<p>児童の安全の確保および犯罪防止を目的として、児童が集まる場所等に防犯カメラの設置を進めます。</p>	【防犯カメラ設置事業】(協働安全室)
		老朽化した既設防犯カメラ2台の更新を行ったほか、防犯カメラの適切な維持管理に努めた。

④利便性の高いまちづくり(新しい時代の流れを強化)

主な施策・事業	概要	取組実績
新しい技術の導入推進	<p>行政手続における添付書類の簡略化や、各種手続きにおける行政機関への来庁を不要とする電子申請等への取組、国や県および民間企業などとの協働による自動運転(無人)バスの実証実験等の取組を推進します(Society5.0の活用・推進)。</p>	【証明書等コンビニ交付サービス】(企画室)
		トラブルなく安定稼働を継続している。

⑤未来志向の持続可能なまちづくり

主な施策・事業	概要	取組実績
行財政運営の効率化	<p>限られた資源の中で、先進的な技術を取り入れることで、人的・財政的にも持続可能なサービスを維持していきます。</p>	【自治体DX推進計画の推進】(企画室)
		<p>オンライン手続きによる業務効率化を図るため、電子申請フォームの管理・整備を実施した。</p> <p>【住宅用太陽光発電システム設置整備事業費補助金事業】(住民環境室)</p> <p>49件、4,987,000円の補助を行った。</p>

(2)住民が共に進めるまちづくり

KPI	自治会により地域づくり振興事業補助金を活用した事業の参加者数			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	8,000 人 (達成目標)	現況 H30	7,029人	【未達成】 各自治会において、夏祭りだけではなく、花火大会や大抽選会等が開催され、前年度よりも多くの住民が参加したが、目標値までには至らなかった。
年度	実績値		達成率	
R2	410 人		5%	
R3	620 人		8%	
R4	637 人		8%	
R5	3,867 人		48%	
R6	4,794 人		60%	
担当部署	総務課 協働安全室			

主な施策・事業	概要	取組実績
自治会地域づくり 振興事業	自治会の自主的な取組による地域に根ざす活動を支援し、地域の特色を活かした魅力あふれる施設づくりによるまちづくりを推進します。 地域活動の先進事例紹介などの講演会等を開催し、自治会活動を支援します。	【自治会地域づくり振興事業】(協働安全室)
		自治会の負担軽減を図りながら町と自治会の協働のまちづくりを推進するため、「自治会振興助成事業補助金」に統合し、1自治会30万円の補助を行った。
		【自治会振興助成事業】(協働安全室) 自治会の負担軽減を図りながら町と自治会の協働のまちづくりを推進するため、「自治会振興助成事業補助金」に統合し、1自治会30万円の補助を行った。
ごみ出し支援 ボランティア	高齢者や障害者の一人暮らし世帯等で支援が必要な方が安心して暮らせるように、地域や団体がごみ出し等を代わりに行うなど、取組を推進します。	【ごみ出し支援ボランティア事業】(住民環境室) 実際に自治会等で実施したところはなかった。
地域づくり団体への 支援強化	組織化に至っていない地域づくり団体に対し、県地域づくり協議会との連携の中で、ノウハウなどの提供をしながら、サポートを行っていきます。 現在町内で活動されている団体との繋がりを更に密にし、補助金等も含め支援します。 県地域づくり協議会との関わりをさらに深め、県内自治体および加盟団体との相互連携の中で活動内容の充実を図ります。	【未組織化の地域づくり団体のサポート及び既存団体の活動強化】(協働安全室) 県地域づくり協議会の会議に参加し関りを深めたが、町内の地域づくり団体への具体的なサポートは行えなかった。

基本目標 2. 一人ひとりが輝き、生き生きと暮らせるまち

数値目標	子育てしやすいと感じている保護者の割合	基準値	33.1%(平成30年度)	実績値	42.1%(令和6年度)
		目標値	35.0%(令和6年度)		
	健康と感じている高齢者の割合 (要介護認定者を除く)	基準値	68.8%(令和元年度)	実績値	78.8%(令和4年度)
		目標値	72.0%(令和6年度)		

(1) 子育てしやすいまちづくり

KPI	子育て相談会利用者数			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	200 人 (達成目標)	現況 H30	152人	【達成】 R7年度も継続して取り組む。相談の必要がある人を取りこぼさないよう、心理士・保健師全体で分担・共有しながら対象者をフォローできる体制づくりを目指す。
年度	実績値		達成率	
R2	347 人		174%	
R3	192 人		96%	
R4	194 人		97%	
R5	227 人		114%	
R6	262 人		131%	
担当部署	健康福祉課 健康づくり室			
KPI	学童クラブの定員			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	405 人 (達成目標)	現況 H30	365人	【達成】 今後も利用希望や要望に対応できるよう、関係団体と連携しながら、保育施設・学童クラブの環境整備を進める。
年度	実績値		達成率	
R2	385 人		95%	
R3	485 人		120%	
R4	490 人		121%	
R5	550 人		136%	
R6	630 人		156%	
担当部署	健康福祉課 子育て支援室			

① 子育てに関する不安や悩みの軽減

主な施策・事業	概要	取組実績
産前・産後サポート事業	家事や育児を手伝ってくれる家族がい ない、産前1か月から産後1年までの妊産 婦を対象に、家事や育児の支援を実施し ます。	【産前・産後サポート事業】(健康づくり室)
		妊娠届出時、出生手続き時、家庭訪問時等に、案内チラシにて事業を周知し た。妊娠届出数:204件。転入妊婦24件。
発達障害の早期 発見のための各種 健診の充実	自閉症やADHD(注意欠陥・多動性障 害)・ASP(アスペルガー症候群)等の広 汎性発達障害を早期に発見し、子どもの 生活のしづらさと保護者の負担や不安の 軽減を図るため、「こどものこころの発達 健診」「年中児こころの成長アンケート」 「発達支援教室」を実施します。	【こどものこころの発達健診】(健康づくり室)
		事業廃止のため実績なし
		【年中児こころの成長アンケート】(健康づくり室)
		アンケート発送数:273件 保護者回答数:190件 園への依頼件数:69件 発達支援教室案内送付数:45名(内教室参加希望者13名) 電話フォロー:120件
育児相談事業	乳幼児検診の事後相談の充実と、母乳 相談や子育て相談会のスタッフの充実を 図ることにより、健診後の要観察児童の 電話相談や訪問相談等のフォローを充実 させて、育児不安やストレスの軽減・解消 を図ります。	【発達支援教室】(健康づくり室)
		「じゃんぷ」(12回開催) 発達支援教室案内送付数:45名(内教室参加希望者13名) 参加者(延):97名 「ほっぷ」(12回開催) 参加者(延):87名
ワーク・ライフ・バ ランスの普及・促 進	町民や企業に対しての広報・ホームペ ージ等を通じたPR活動により、ワーク・ラ イフ・バランスに対する意識の啓発を図り、 仕事と家庭の両立を促進していきます。	【育児相談の充実事業】(健康づくり室)
		子育て相談会:29件、すてっぷ:46件 ことばの相談:22件、運動発達の相談:37件 随時心理相談:128件、TEL相談:100件 母乳・離乳食相談:192件
赤ちゃんの駅(情 報マップ)の活用 支援	外出中のおむつ替えや授乳などで誰で も自由に立ち寄ることができる公共施設 や民間施設を「赤ちゃんの駅」として指定 します。また、赤ちゃんの駅がどこにあ るか一目で分かるよう、地図等による情 報提供を充実していきます。	【ワーク・ライフ・バランス普及促進事業】(産業振興室)
		広報掲載、庁舎内掲示、ホームページを活用し、周知を行った。
		【赤ちゃんの駅情報提供】(子育て支援室)
		HP掲載により周知を行った。
		【赤ちゃんの駅指定事業】(子育て支援室)
		HP掲載により周知を行った。

②子育ての経済的負担の軽減

主な施策・事業	概要	取組実績
不妊・不育対策支援	特定不妊治療への助成に加えて、一般不妊治療、男性不妊治療、不育症など各種不妊治療に対し一部助成をすることにより、子どもをもちたいと考えている夫婦が安心して治療に望める環境を引き続き整えていきます。	【不妊治療費助成事業】(健康づくり室) 令和6年度助成数31件(945,000円) 【内訳】 特定不妊治療(延べ)22件(742,000円) 一般不妊治療(延べ)8件(196,000円) 不育症治療1件(7,000円)
学校給食費における負担額軽減事業	引き続き、町内の児童生徒の学校給食費の一部補助を実施し、子どもをもつ家庭の経済的負担の軽減を図ります。	【学校給食費補助事業】(教育総務室) 児童生徒1人当たり950円×11ヶ月=10,450円 食材費補助 5,000,000円 第3子以降給食費無料化(減免)制度を継続 物価高騰分 15,000,000円 群馬県産さき消費拡大推進事業 37,000円
高校生等の通学支援	公共交通機関を利用して遠距離通学する高校生等をもつ家庭の経済的な負担軽減を図ります。	【高校生等公共交通通学支援事業】(企画室) 広報や町ホームページなどで周知した。 電子申請が可能になり保護者の負担を軽減した。 申請件数:273件(内電子申請246件) 実申請者数:95人 補助額: 845,000円

③働きながら安心して子育てできる環境整備

主な施策・事業	概要	取組実績
学童クラブの充実・整備	年々増加する学童クラブの利用希望や要望に対応できるように、環境整備を進めていきます。	【駒寄第4学童クラブ整備事業】(子育て支援室) R3年度事業完了 【新明治第2学童クラブ新設事業】(子育て支援室) R3年度事業完了

(2)「子どもを育てる」、「子どもが育つ」環境づくり

KPI	ALT(外国語指導助手)の人数 (日本人を含む)			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	4人 (達成目標)	現況 H30	3人	【達成】 今後も4名のALTを配置し、児童生徒の英語教育の充実を図る。
年度	実績値		達成率	
R2	4人		100%	
R3	4人		100%	
R4	4人		100%	
R5	4人		100%	
R6	4人		100%	
担当部署	教育委員会事務局 学校教育室			
KPI	マイタウンティーチャーズの人数 (学級補助員を含む、ALTを含まない)			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	17人 (達成目標)	現況 H30	14人	【達成】 特支支援員は特別支援学級数により変動があるため、人員配置は毎年度見直しすることで支援の充実を図る。
年度	実績値		達成率	
R2	17人		100%	
R3	17人		100%	
R4	19人		112%	
R5	21人		124%	
R6	23人		135%	
担当部署	教育委員会事務局 学校教育室			

①就学前児童と保護者の交流・成長支援

主な施策・事業	概要	取組実績
家庭保育児支援事業	保育園等に通園していない保護者の育児相談や子育てサークルへの指導・援助、一時預かり事業や児童館および子育て支援センターの充実を図ります。	【地域子育て支援拠点事業】(子育て支援室)
		吉岡町第四保育園の分園舎の一部を利用し育児相談等を実施した。
保育士確保事業	増加する保育園等への入園希望世帯のニーズに応えられるように、保育士の確保を進めています。	【保育士確保事業】(子育て支援室)
		保育士の余剰配置により、年度途中においても児童が保育所等へ入所しやすい体制を確保した。

②児童・生徒の教育環境等の充実

主な施策・事業	概要	取組実績
ALT、マイタウンティーチャー等の拡充	小中学校におけるALTの拡充を図り、語学学習の環境の充実を推進します。小中学校におけるマイタウンティーチャー等の拡充を図り、よりきめ細かな学習への支援を行います。	【ALTの活用・増員】(学校教育室)
		明治小:1、2年生には日本人ALT、3年生以上には外国人ALTを配置した。 駒寄小:1～3年生には日本人ALT、4年生以上は外国人ALTを配置した。 吉岡中:全学年に外国人ALTを配置した。 上記状況の通り、主な取組の概要通りの実施ができた。
		【マイタウンティーチャー等の活用・増員(学習補助員を含む)】(学校教育室)
		マイタウンティーチャーは、明治小に2名、駒寄小に1名の計3名を配置し、学級補助員は、明治小に7名、駒寄小に8名、吉岡中に5名の計20名を配置した。
学校・家庭・地域の連携推進事業	学校運営協議会の中で、学校・家庭・地域の連携のあり方について考えていきます。 地域住民による地域学習やスポーツ指導、登下校時の見守り等のボランティア活動を推進し、地域の教育力の向上を図っていきます。	【地域学校支援センターによる地域人材の活用】(学校教育室・生涯学習室)
		学校運営協議会の活性化のため、会議を4回、自主研修を1回実施した。各校の教育活動の視察を通して「よしおかの子育てプラン」の見直しや具体的な取組に向けての熟議を行った。
吉岡町・大樹町子ども交流事業	次世代を担う町内の小学生を大自然あふれる友好都市北海道大樹町に派遣し、自然体験活動・社会体験活動・宿泊体験活動を通じて「生きる力」を育み青少年の健全育成を図ります。 異なる環境や生活・文化を学ぶことにより視野を広げ、学校・地域社会でリーダーシップを発揮できる人材を育成していきます。	【吉岡町・大樹町子ども交流事業】(生涯学習室)
		○6/15大樹町職員による事前説明会(児童及び保護者) ○8/31公開抽選会 ○10/26事前研修①(児童及び保護者) ○12/21事前研修②(児童のみ) ○1/2～5本研修 ○1/11事後研修(児童のみ)

③子どもの可能性を広げるための学習支援

主な施策・事業	概要	取組実績
「プロフェッショナル」による出前講座の開催	スポーツや芸術分野等で活躍する「プロフェッショナル」の方に職業紹介や人生体験等を語ってもらうことにより、こころ豊かな子どもの成長を促します。	【講座開催に向けた小中学校との調整】(生涯学習室)
		ヤマダHDの陸上教室、文化庁出前講座の能公演を開催した。
ICT環境の充実	文部科学省のGIGAスクール構想に基づいた超高速ネットワークや児童生徒用端末等のICT環境の整備を行い、学習者用端末を日々の学習用具の一つとして活用する中で、児童生徒に国際社会に通用する意識やスキルを身に付けさせるための取り組みを行います。	【パソコン教室の整備・タブレットの導入】(教育総務室)
		・令和2年度から整備した端末整備の維持 ・昨年度から引き続きGIGAスクール運営支援センター事業を行った。 4,298,360円(税込) ・ネットワーク環境改善のための調査として、ネットワークアセスメント事業を行った。3,003,000円(税込) ・公立学校情報機器活用支援体制整備費補助金(GIGAスクール運営支援センター整備事業416,000円、ネットワークアセスメント実施促進事業1,000,000円)

(3)健康で生き生きと暮らせるまちづくり

KPI	特定健診および人間ドック受診率			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	50.0 % (達成目標)	現況 H30	44.4%	【未達成】 広報やHPなどにより周知は行っているが受診率は伸び悩んだ。 R6年度からの新事業である「特定健診受診率向上対策事業」の効果もあり、目標値には満たないが昨年度より受診率は増えた。
年度	実績値		達成率	
R2	33.2 %		66.4%	
R3	34.5 %		69.0%	
R4	36.8 %		73.6%	
R5	38.2 %		76.4%	
R6	46.5 %		93.0%	
担当部署	住民課 保険室			
KPI	よしおか健康No.1プロジェクト等参加者数			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	25,000 人(延) (達成目標)	現況 H30	延19,705人	【未達成】 参加者数は増加傾向にあるが、自治会での活動の幅に開きがあるため。
年度	実績値		達成率	
R2	13,028 人(延)		52%	
R3	14,469 人(延)		58%	
R4	17,772 人(延)		71%	
R5	18,450 人(延)		74%	
R6	21,601 人(延)		86%	
担当部署	健康福祉課 健康づくり室			
KPI	地域福祉交流拠点施設利用者数			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	3,000 人 (達成目標)	現況 H30	1,802人	【未達成】 現在は社会福祉協議会のサポートのもと、ボランティアが主体となり様々な交流事業を行っているが目標値には満たなかった。今後は他団体の利用についても促進できるよう広報等により周知し、地域の福祉拠点としての機能を充実させていく。
年度	実績値		達成率	
R2	928 人		31%	
R3	909 人		30%	
R4	1,746 人		58%	
R5	2,006 人		67%	
R6	2,093 人		70%	
担当部署	健康福祉課 介護高齢室			

①地域ぐるみでの健康づくり施策の推進

主な施策・事業	概要	取組実績
健康活動の推進事業	一日の運動量を活動量計などで確認することにより、町民の健康意識の向上を図ります。	【健康増進事業】(健康づくり室) ・ミニ体力測定の実施 ・食育教室 ・講演会 ・各自治会での自主活動等
総合検診の充実	総合検診として、特定健診、がん検診、わかば健診を同日に実施し、受診率を高め、町民の健康管理および病気の早期発見につなげることで、町民の健康づくりを支援します。	【総合検診の充実】(健康づくり室) 集団検診を11日間実施。 受診率向上の目的で、需要の高い午前中の時間に、全ての項目が受けられるようにした。 【集団検診受診者数】 肺がん:1901人、大腸がん:1922人、胃がん:781人、乳がん:1072人、子宮頸がん:873人、前立腺がん:662人、特定健診:800人、わかば健診:308人
介護予防・生活支援サービス事業の推進	支援を必要としている高齢者を対象に、生活機能の低下に係る早期発見・早期対応を行う介護予防・生活支援サービス事業を提供することにより、要介護状態とならないように支援をしていきます。	【介護予防・生活支援サービス事業の実施】(介護高齢室) 訪問・通所介護相当のサービス、「訪問型サービスC」を2件実施した。
学習機会の充実	教養講座をはじめとする様々な学習機会を提供することにより、町民の生きがいづくりを支援します。	【よしおか手作り講座】(生涯学習室) 21講座のうち13講座の開講となり、開講率は61.95と増加した。 【教養講座】(生涯学習室) 高齢者向け教養講座「エネルギーガレッジ」や頭を使いながら体を動かす「いきいき健康教室」を実施した。

②誰もが活躍できる地域社会の形成

主な施策・事業	概要	取組実績
地域福祉交流拠点施設の交流事業	吉岡町社会福祉協議会のサポートのもとボランティアが主体となり、元気になるカフェをはじめとした様々な事業を実施します。	【「元気になるカフェ」の開催】(介護高齢室) 元気になるカフェや22カフェ、学習支援、DANDAN(家族介護者交流事業)、高齢者向けスマホ相談会など様々な活動を行った。

基本目標 3. 地域資源を活かした産業や交流を応援するまち

数値目標	就学未満児の母親が働いている割合 (育児時、パート等を含む)	基準値	71.8%(平成30年度)	実績値	85.1%(令和6年度)
		目標値	73.5%(令和6年度)		
	高齢者の就業率(要介護認定者を除く)	基準値	21.6%(令和元年度)	実績値	24.4%(令和4年度)
		目標値	25.0%(令和6年度)		

(1)地域を誇りに思い、魅力を発信するまちづくり

KPI	道の駅年間利用者数			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)	
目標 R6	440,000 人 (達成目標)	現況 H30	419,514人	【達成】 R6年度より物産館が振興公社の運営となり、月例イベントの開催や施設間連携が図られ、道の駅全体の利用者数が押し上げられた。当該物産館は令和7年度から指定管理の対象施設となり、より一体的な管理運営を行うことで売り上げの増加に努める。	
年度	実績値		達成率		
R2	251,000 人		57%		
R3	217,734 人		49%		
R4	300,406 人		68%		
R5	360,776 人		82%		
R6	498,495 人		113%		
担当部署	産業観光課 産業振興室				
KPI	ホーム(総)ページ年間閲覧数			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)	
目標 R6	450,000 件 (達成目標)	現況 H30	406,285件	【達成】 アクセスしてもらうことが最終目的ではなく、そこから必要な情報を収集してもらったり、各種申請をしてもらったりすることが目的である。記事の見つけやすさや、電子申請による申請率の向上に務める。	
年度	実績値		達成率		
R2	887,129 件		197%		
R3	1,018,294 件		226%		
R4	1,010,221 件		224%		
R5	996,126 件		221%		
R6	967,167 件		215%		
担当部署	企画財政課 企画室				
KPI	町公式SNSのフォロワー数(合計)			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)	
目標 R6	3,000 人 (達成目標)	現況 H30	未実施	【未達成】 広報や学校への周知により、目標値に近づけることはできた。今後、有料プラン等も検討し、行政ポータルの一つとして活用できるよう検討を進める。	
年度	実績値		達成率		
R2	未実施 人				
R3	未実施 人				
R4	630 人		21%		
R5	1,149 人		38%		
R6	2,557 人		85%		
担当部署	企画財政課 企画室				
KPI	文化財センター利用者数			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)	
目標 R6	1,500 人 (達成目標)	現況 H30	1,080人	【未達成】 未達成となったが、コロナ禍前よりも増加となった。また、体験学習や古墳公開等の初めての試みも実施し、町文化財をととした魅力発信に努めた。引き続き来館者の増加に向けた普及を図っていきたい。	
年度	実績値		達成率		
R2	1,113 人		74%		
R3	1,178 人		79%		
R4	1,241 人		83%		
R5	1,534 人		102%		
R6	1,423 人		95%		
担当部署	教育委員会事務局 生涯学習室				

①地域資源の発掘・活用

主な施策・事業	概要	取組実績
複合施設「道の駅 よしおか温泉・緑 地運動公園」の利 用促進	パークゴルフの全国大会の開催や「渋 川～伊香保～吉岡観光トライアングル」な どの広域での観光産業の育成を支援して いきます。	【緑地運動公園利用促進事業】(産業振興室)
		ゴルフ大会時に景品を贈呈したほか、来場者には、温泉利用等と呼びかける など滞在型施設としての広告宣伝を行った。
観光ボランティア の育成・連携	野田宿や大久保宿、船尾滝などの町内 の見どころを有効活用するために、よしお か再発見ウォークへのボランティアスタッ フの導入を推進します。 地域の語り部を観光ボランティアとして 養成するための講座やワークショップを、 既存の文化団体との連携を図りながら開 催します。	【よしおか再発見ウォーク】(産業振興室)
		実績なし (観光PRイベントとして、地域事業者出店のマルシェイベントを実施したこと から、よしおか再発見ウォークは開催されなかったため。)
		【よしおか再発見ウォーク】(生涯学習室)
		実績なし(産業振興室主催)
		【観光ボランティア養成講座、ワークショップ】(産業振興室)
		実績なし (観光PRイベントとして、地域事業者出店のマルシェイベントを実施したこと から、観光ボランティアに係る施策である、よしおか再発見ウォークは開催し ていない)
文化財を資源とし た交流エリアの形 成	歴史文化に関する情報発信や各種交流 事業を実施し、町民の郷土愛の情勢を図 るとともに、さまざまな方面にアピールを していきます。	【観光ボランティア養成講座、ワークショップ】(生涯学習室)
		実績なし(産業振興室主催)
文化財資源の動 画配信	ドローンなどで撮影を行い、文化財施設 の紹介動画などをスマートフォンなどで気 軽に見られるようにし、認知度や魅力度 をさらに高めます。	【企画展等の開催】(生涯学習室)
		企画展「吉岡町の鬼面石宮～鬼のお面がついたお宮～」(6月11日(火)～3 月31日) 夏休みこどもときめき講座(体験学習)「ミニ円筒ハニワづくり体験」(8月7 日) 吉岡中学校職場体験受け入れ(9月11日) 県指定「史跡南下古墳群石室公開デー」(11月30日)
文化財資源の動 画配信	ドローンなどで撮影を行い、文化財施設 の紹介動画などをスマートフォンなどで気 軽に見られるようにし、認知度や魅力度 をさらに高めます。	【文化財資源等の動画制作・配信】(生涯学習室)
		文化財映像「吉岡町の街道～佐渡奉行街道と大久保宿～」の作成・配信

②「吉岡の魅力」の情報発信

主な施策・事業	概要	取組実績
道の駅「よしおか温泉」情報発信強 化事業	道の駅「よしおか温泉」を町の東玄関口 として位置づけていることから、広域観光 案内、防災および地域情報の提供施設と してさらなる整備を図るとともに、地域特 産品のPRの強化を図ります。	【デジタルサイネージ運用事業】(産業振興室)
		道の駅や吉岡町に係る観光情報等を、案内所配置の小型サイネージを活用 して配信した。
		【Wi-Fi機器設置事業】(産業振興室)
		Wi-Fi回線の運用及び保守を行った。
まちのイメージアッ プと観光・行政情 報発信の充実強 化	吉岡の魅力を再発見し、町の良さを再 認識できるような事業に取り組むととも に、ホームページのリニューアル等により 「吉岡に行ってみよう」と思われるような 情報発信を進めていきます。	【PRイベント】(産業振興室)
		道の駅を会場に指定管理者による独自のイベントや地域の団体等によるイ ベントが実施された。
		【観光ホームページ等による情報発信】(産業振興室)
		随時、掲載情報の更新と内容の充実化を行った。また、掲載情報の一斉更 新を行った。
		【ガイドマップの更新】(企画室)
		在庫が存在するため、改訂等は行っていない。
		【ホームページの更新・リニューアル】(企画室)
		的確な情報収集の手段として、役割を十分に意識した構成を行った。 所管部局に対し各記事のアンケート結果(分かりやすさ、見つけやすさ等)を 周知し、内容の充実に務めた。
		【暮らしのガイドブックの発行】(企画室)
		官民連携事業として、町の観光情報や生活情報及び各種行政手続等をまと めた「吉岡町暮らしのガイドブック」(第3版)を新たに令和7年3月に発行し た。
まちのイメージアッ プと観光・行政情 報発信の充実強 化	吉岡の魅力を再発見し、町の良さを再 認識できるような事業に取り組むととも に、ホームページのリニューアル等により 「吉岡に行ってみよう」と思われるような 情報発信を進めていきます。	【広報よしおかの発行】(企画室)
		必要な情報を的確に伝えられるよう工夫しながら、毎月発行した。 令和6年5月号から文字を大きくし、読みやすさ向上を図った。
		【移住・定住支援のPR】(協働安全室)
まちのイメージアッ プと観光・行政情 報発信の充実強 化	吉岡の魅力を再発見し、町の良さを再 認識できるような事業に取り組むととも に、ホームページのリニューアル等により 「吉岡に行ってみよう」と思われるような 情報発信を進めていきます。	移住希望者からの問い合わせに対応した。また、12月に、渋川行政県税事 務所、渋川市、榛東村と共同で「北群馬渋川移住セミナー」(zoomによるオ ンライン開催)を開催し、17名の方に参加していただいた。

(2)働きやすい環境づくり

KPI	シルバー人材センター受注件数			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	1,300 件 (達成目標)	現況 H30	1,282件	【未達成】 昨年度に引き続き、現在の会員数の関係により受託事業から派遣事業への切り替えに積極的に取り組んだが、目標値には届かなかった。 センターの周知や働く意欲のある高齢者の入会促進と提供する業務募集、女性会員の拡大を引き続き行う。
年度	実績値		達成率	
R2	1,118 件		86%	
R3	1,091 件		84%	
R4	1,182 件		91%	
R5	921 件		71%	
R6	1,132 件		87%	
担当部署	産業観光課 産業振興室			
KPI	無料職業紹介センター事業による就職成立者数 (商工会)			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	50 人 (毎年度目標)	現況 H30	46人	R5年度末事業廃止 (令和5年度をもって緊急雇用対策事務委託が終了し、商工会設置の無料職業紹介センターが廃止された)
年度	実績値		達成率	
R2	38 人		76%	
R3	44 人		88%	
R4	34 人		68%	
R5	32 人		64%	
R6	－ 人			
担当部署	産業観光課 産業振興室			

主な施策・事業	概要	取組実績
放課後児童安全対策事業(見守りパトロール)【再掲】	児童の帰宅時等の安全を確保するため、放課後に見守りパトロールを実施することにより、保護者が安心して働けるように支援します。	【見守りパトロール事業(再掲)】(協働安全室)
		公益社団法人群馬県長寿社会づくり財団に委託し、町内小中学校の下校時間帯に、町が所有している青色防犯パトロール車を使用して町内パトロールを実施した。
ワーク・ライフ・バランスの普及・促進【再掲】	町民や企業に対しての広報・ホームページ等によるPR活動により、ワーク・ライフ・バランスに対する意識の啓発を図るとともに、仕事と家庭の両立を促進していきます。	【ワーク・ライフ・バランス普及促進事業】(産業振興室)
		広報掲載、庁舎内掲示、ホームページを活用し、周知を行った。
地元住民の雇用促進	町内に進出する事業者に対し、正規雇用を含めた地元住民の雇用促進などに関する働きかけを行います。	【(仮)地元住民雇用促進事業】(産業振興室)
		商工会との連携及び町内立地企業への地元雇用の働きかけを継続した。
		【地域特産品生産体制構築事業】(農業振興室)
		新規就農者に対し県農業指導センターと連携した技術指導やサポートチームによる課題整理及び改善指導を実施した。

(3)新しいことにチャレンジする人を応援するまちづくり

KPI	新規就農者数			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	1 人 (毎年度目標)	現況 H30	0人	【達成】 町農業の新たな担い手確保のため、農業指導センター等関係機関と連携し、新規就農相談を実施する。
年度	実績値		達成率	
R2	1 人		100%	
R3	1 人		100%	
R4	1 人		100%	
R5	1 人		100%	
R6	1 人		100%	
担当部署	産業観光課 農業振興室			
KPI	商工会新規登録事業所数			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	20 事業所 (毎年度目標)	現況 H30	20事業所	【未達成】 R7年度当初にかけての新規登録の精査であったため。新規登録はサービス業を中心に飲食業、建設業、小売業であった。 町としても商工会会員のメリット等を事業者へ伝えていく。
年度	実績値		達成率	
R2	13 事業所		65%	
R3	17 事業所		85%	
R4	20 事業所		100%	
R5	20 事業所		100%	
R6	12 事業所		60%	
担当部署	産業観光課 産業振興室			
KPI	起業件数			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	3 件 (毎年度目標)	現況 H30	2件	【達成】 業種別では、パン・菓子製造業、施術業、療術業、他に分類されないその他の生活関連サービス業、パン製造業、書道教授業、美容業、持ち帰り配食サービス業(日本産業分類大分類)であった。 創業支援等事業計画上、ワンストップ相談窓口である商工会の活用を図る。
年度	実績値		達成率	
R2	4 件		133%	
R3	9 件		300%	
R4	7 件		233%	
R5	7 件		233%	
R6	10 件		333%	
担当部署	産業観光課 産業振興室			
KPI	移住支援金を活用した移住者の人数			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	5 人 (毎年度目標)	現況 H30	0人	【未達成】 令和6年度内の移住支援金申請者はいなかったが、群馬県が移住魅力ランキングで上位になったことも影響したのか、令和7年度の移住支援金の対象となることが見込まれる相談者が増加した。
年度	実績値		達成率	
R2	0 人		0%	
R3	0 人		0%	
R4	5 人		100%	
R5	0 人		0%	
R6	0 人		0%	
担当部署	総務課 協働安全室			
KPI	地域おこし協力隊隊員数			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	1 人 (達成目標)	現況 H30	0人	【未達成】 他自治体での活用事例を提示して、庁内各課・局へ地域おこし協力隊の活用意向調査を行ったが、具体的な活用の意向はどの所属からも出されなかった。
年度	実績値		達成率	
R2	0 人		0%	
R3	0 人		0%	
R4	0 人		0%	
R5	0 人		0%	
R6	0 人		0%	
担当部署	総務課 協働安全室			

①就農支援・創業支援

主な施策・事業	概要	取組実績
耕作放棄地等を活用した就農支援	農業委員会が中心となり、認定農業者や農業に興味のある住民等を取り込み、地域一体となって耕作放棄地等の有効活用と就農支援に取り組みます。	【耕作放棄地の活用支援事業】(農業振興室)
		農地の耕作状況を調査し、耕作放棄地の中間管理機構を通じた賃借を行った。
生涯現役就労支援	シニア世代の創業支援や地域からの雇用創出により、生きがいづくりを兼ね生涯現役で働き続けられるよう支援します。	【シルバー人材センター活用事業】(産業振興室)
		シルバー人材センターを活用してもらえるよう広報を通じR活動を行った。
		【シニア向け就業相談事業等の情報提供】(産業振興室)
創業支援事業	産業競争力強化法に基づく「吉岡町創業支援事業計画」を策定し、地域雇用の増加を図ります。	群馬県シニア就業支援センターに係るチラシの設置と町ホームページでの周知を行った。
		【吉岡町創業支援事業計画の運用】(産業振興室)
空き家の有効活用	空き家実態調査の結果を踏まえて、創業予定者に対する活用可能な空き家の情報提供などの事業所としての有効活用を図ります。	創業支援塾の受講機会の増加を目的に、町商工会、県商工連との取組に加えて、金融機関主催の創業支援塾を町の特定創業支援等事業として実施した。また、内容充実を図るため創業支援塾の回数について増加した。
		【空き家等対策計画の策定】(都市建設室)
		月1回の空き家相談を実施した。空家等に係る苦情があった場合、空家対策特措法に則り、所有者等に助言を行った。「吉岡町空き家対策」冊子の寄贈を受け、希望者へ配布した。
		【空き家等対策計画の策定】(産業振興室)
		町商工会と空き店舗の共有を図るとともに町空き家バンクへの登録は無く、創業予定者からの照会も無かった。

②地域活性化への取組支援

主な施策・事業	概要	取組実績
地域活性化への取組支援	地域の団体等が行うイベントや事業等に対し、補助金等も含め支援することにより、地域の更なる活性化を図ります。	【地域イベント事業助成事業】(協働安全室)
		団体等のイベントに関する補助金はすでに廃止されており、特に取り組みはなかった。
地域おこし協力隊の活用	地域おこし協力隊員を委嘱し、新たな視点から地域の活性化を図ります。	【地域おこし協力隊の活用の検討・研究】(協働安全室)
		他自治体での活用事例を提示して、庁内各課・局へ地域おこし協力隊の活用意向調査を行ったが、具体的な活用の意向はどの所属からも出されなかった。

(4)町の魅力や企業の価値を高める活動を応援するまちづくり

KPI	新規技術開発企業の発掘			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	現状維持 (毎年度目標)	現況 H30	1件	【未達成】 群馬県との共同事業として、ものづくりやサービス等に係る新技術・新商品の開発や地域特色を生かした新製品を開発する事業者へ支援を行う事業であったが、平成30年以降申請が無く、令和6年度末をもって事業廃止した。
年度	実績値		達成率	
R2	0 件		－	
R3	0 件		－	
R4	0 件		－	
R5	0 件		－	
R6	0 件		－	
担当部署	産業観光課 産業振興室			

主な施策・事業	概要	取組実績
「よしおかブランド」の立ち上げ	町内の農商工生産物に対し、関係諸団体と協議のうえ、一定の基準を設けた認証制度を立ち上げ、有利販売に結びつけるとともに生産者の意欲向上を図ります。	【地域ブランド化に向けた研究】(産業振興室)
		県による優良県産品の認定1年目であったほか、認定に関する事業者からの問合せ等はなかった。
		【地域ブランド化に向けた研究】(農業振興室)
6次産業化に対する支援	町内の農産物を活用し、付加価値を高めた販売に結びつけるための取組を支援します。	【地域特産品生産体制構築事業(再掲)】(農業振興室)
		「乾燥芋」ブランドの存続に向け、種芋の貯蔵庫を提供し、情報提供や技術指導を実施した。
地域特産物の販売促進等の支援	地域資源を見直すことにより、農業生産物の加工販売や農業生産体験等を観光化するなどの新たな取組によって、地域雇用を生み出すとともに、地域の求心力を高めていきます。	【地域特産品のPR活動】(産業振興室)
		町観光ホームページの活用による情報発信や、電話等問い合わせへの対応を生産者と協力して行った。
		【地域特産品のPR活動】(農業振興室)
ぐんま新技術・新製品開発推進事業	町内中小企業者が行う新製品・新商品の開発に対して、群馬県と連携しながら支援していきます。	【ぐんま新技術・新製品開発推進事業】(産業振興室)
		県と連携した広報活動のうえ2次募集(最終)まで実施したが、申請はなかった。
小規模事業者販路開拓等支援補助金事業	町内小規模事業者の販路拡大に資する取組への支援により、地域における持続可能な産業構造の強化を促進します。	【小規模事業者販路開拓等支援補助金事業】(産業振興室)
		町ホームページの更新や町広報への掲載により事業周知を行ったほか、商工会との連携により申請の増加を図った。申請期間を延長したが予算額に達するまでには至らなかった。